

早稲田現代中国研究拠点 (WICCS)・研究班

1. 研究班名称	セーフティネット研究班
2. 研究班の主旨	<p>「和諧社会」が相互扶助に満ちた世界だとすれば、現政権がその達成を目指すのは社会のあらゆるユニットで相互扶助ネットワークが弱体化したからにほかならない。本研究会は、家族、地域、企業、政府といったユニットが果たしてきた・果たすことが期待される福祉的・相互扶助的機能のあり方について、実証的に検討してゆく。中国のセーフティネットを総体として研究している者が少ないため、本研究会はその時々家族や社会の専門家を招待し、そこでの討論を通じて、中国におけるセーフティネットのあり方を模索してゆきたい。もっとも、多くは社会階層研究班との共同での作業が進んでゆくことになるだろう。</p>